

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
324	精神障害者社会復帰施設運営事業	01	一般会計		
		03	民生費		
5	障害者在宅援護事業	01	社会福祉費		
		04	障害福祉費		
		104	精神障害者社会復帰施設運営事業		
担当部課名	青山支所 健康福祉課		細目	01	精神障害者社会復帰施設運営事業
作成者氏名	奥田 充法	連絡先	52-3228	細々目	01

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
精神障害者授産施設利用者		雇用されること困難な精神障害者が、自活することができるように必要な訓練等を実施し、社会復帰の促進を図る。				
本年度事業内容	社会福祉法人伊賀聾会「太陽作業所」へ、通所している人数に基づく施設への補助金と通所者への交通費助成					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	238	240	240
委託料			
負担金・補助	238	240	240
その他			
合計(A+B)	958	960	960
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	958	960	960
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
施設運営費等補助	ヶ所	1	1	1			
通所に伴う交通費助成	人	2	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
社会復帰者数	通所者が必要な訓練を終了し、自活できるようになる	人	0 目標 (2)	1	1
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

通所を希望し社会復帰に向けての訓練等へのなじみが持てず、厳し時期があったが、周囲の応援等により月日を重ねることで、通所できるようになった。今後も家庭に閉籠もりがちになる障害者の通所の場の確保とともに作業訓練を継続する必要があり、利用者にニーズに合わせた充実に向け支援する必要がある。又障害者に対する市民の理解をえる啓発を図る必要がある。

評価	必要性	4	在宅の精神障害者の福祉的就労や日中の活動の場として、精神障害者の自立と社会参加を進めるための意義ある事業である	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		